



## ポップサーカス見学

先日、エミフル松前にポップサーカスを観に出かけました。  
入所の掲示版に貼ってあるポスターを見て、「これ、行きたい!」と言われたある利用者さん。そこで、「じゃあ計画してみよう。」と、他にも希望者を募り、6名でサーカスに出かけてきました。見たことのないアクロバットや、動物の曲芸、空中フランク! 普段味わえない雰囲気を楽しめた良い時間となりました。



普段、何気なく発せられる利用者さんの言葉から実現したサーカス見学。今年は入所旅行の年でもあり、利用者さんのやりたい事、行きたい場所、会いたい人、色んな希望を実現出来る一年になるよう、入所職員一同頑張ります。今年度もよろしくお願ひいたします。



## 第8回 職員のつぶやき ~サービス管理責任者 末光由和~

最近、中学生の娘が、樺坂46の歌をよく聴いています。つられて聴くことが多いのですが、さすが秋元康さんの歌詞、上手に作られています。いい大人が、ドキッとするような歌詞だったりします。樺坂46の歌は、社会風刺のメッセージングが多く、例えば、「サイレントマジョリティー」、静かな多数派という意味ですが、その中に「どこかの国の大統領が言っていた 声を上げない者たちは賛成していると 選べるのが大事なんだ 人に任せるな 行動しなければ Noと伝わらない」という歌詞がありますが、みなさんは、ドキッとしませんか。流されていませんか。自分の意見が言えていますか。ちゃんとノーが言えますか。利用者の方の、意思決定に力を入れていくこの時代に、職員が自分の意思をしっかり持ち、意見が言えないと、利用者の方の意思決定の支援や、夢や希望の実現ができるのか疑問です。みなさん、自分の意見をしっかり出して、「ノイズィーマイノリティー」になりましょう。

